

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	武岡台	高等学校	大学科:	情報科学
科目名:	論理・表現 I	学年	1年	

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 ☐	日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、お互いに情報や考えを伝え合うことができる。	2	インタビュー テスト	1学期	ア
	SI2 ☐	与えられた話題について、相づちや質問を活用しながら話が途切れないように即興で話すことができる。	4・7	単元末 テスト	1学期 2学期	ア
	SI3 ☐	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見を交換したりすることができる。	8・10・ 14	ロールプレイ、インタビュー テスト	2学期 3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 ☐	リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	1	プレゼンテーション	1学期	ア
	SP2 ☐	事実と意見の区別をしながら、相手に伝わりやすい展開を工夫して話すことができる。	6・9	スピーチ	2学期	イ
	SP3 ☐	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、発表することができる。	12・15	プレゼンテーション、スピーチ	2学期 3学期	イ
Writing	W1 ☐	平易な語彙や基本的な構文を用いて自分の意見などを書くことができる。	3・5	考査・エッセイライティング	1学期	ア
	W2 ☐	内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	11	考査	2学期	イ
	W3 ☐	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔な文章を40語程度で書くことができる。	13	考査	3学期	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

R6	学校名:	武岡台	高等学校	学校番号:	5
	科目名:	論理・表現 I		大学科:	情報科学

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1	SP	ア	PT	SP1□	リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら話すことができる。
	5	2	SI	ア	PT	SI1□	日常的な話題について, 基本的な語句や文を用いて, お互いに情報や考えを伝え合うことができる。
	6	3	W	ア	定期考査	W1□	平易な語彙や基本的な構文を用いて自分の意見などを書くことができる。
		4	SI	ア	単元末テスト	SI2□	与えられた話題について, 相づちや質問を活用しながら話が途切れないうちに即興で話すことができる。
	7	5	W	ア	エッセイライティング	W1□	平易な語彙や基本的な構文を用いて自分の意見などを書くことができる。
2	9	6	SP	イ	PT	SP2□	事実と意見の区別をしながら, 相手に伝わりやすい展開を工夫して話すことができる。
		7	SI	ア	PT	SI2□	与えられた話題について, 相づちや質問を活用しながら話が途切れないうちに即興で話すことができる。
	10	8	SI	イ	PT	SI3□	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見を交換したりすることができる。
		9	SP	イ	PT	SP2□	事実と意見の区別をしながら, 相手に伝わりやすい展開を工夫して話すことができる。
	11	10	SI	イ	PT	SI3□	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見を交換したりすることができる。
		11	W	イ	定期考査	W2□	内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。
	12	12	SP	イ	PT	SP3□	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 発表することができる。
3	1	13	W	イ	定期考査	W3□	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 簡潔な文章を40語程度で書くことができる。
	2	14	SI	イ	PT	SI3□	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見を交換したりすることができる。
	3	15	SP	イ	PT	SP3□	聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 発表することができる。

論理・表現Ⅰ 科目の目標

「やり取り」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。
「話すこと」「発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	武岡台	高等学校	大学科:	情報科学文系
科目名:	論理・表現Ⅱ	学年	2年	

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 ☐	これまでに学んだ語句や文法を用いて, 情報や考え, 気持ちなどを詳しく話して対話のやりとりを続けようとしている。	1・2・5	ロールプレイ, グループワーク	1学期	ア
	SI2 ☐	立場や状況が異なる相手に対して, 考えや気持ちなどを詳しく話して伝え合うことができる。	9・14	ディベート, ロールプレイ, グループワーク	2学期 3学期	ア
	SI3 ☐	意見や主張, 問題の解決策などを, 詳しく話して伝え合うことができる。	7・11	ディベート	2学期	イ
	SI4 ☐	聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 多様な語句や文を用いて詳しく話して伝え合うことができる。	13	ロールプレイ, グループワーク	3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 ☐	情報や考え, 気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話すことができる。	4	スピーチ	1学期	ア
	SP2 ☐	意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができる	15	プレゼンテーション	3学期	イ
Writing	W1 ☐	情報や考え, 気持ちなどを基本的な語句や文を用いて書くことができる。	3	考査	1学期	ア
			6	エッセイライティング	2学期	ア
	W2 ☐	聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 意見や主張, 問題の解決策などを論理の展開を工夫して書くことができる。	8	考査	2学期	イ
	W3 ☐	意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して書くことができる。	10	単元テスト	2学期	ア
			12	エッセイライティング	3学期	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

R6	学校名:	武岡台	高等学校	学校番号:	5
	科目名:	論理・表現Ⅱ		大学科:	情報科学文系

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1	SI	ア	PT	SI1□	これまでに学んだ語句や文法を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して対話のやりとりを続けようとしている。
	5	2	SI	ア	PT	SI1□	これまでに学んだ語句や文法を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して対話のやりとりを続けようとしている。
		3	W	ア	定期考査	W1□	情報や考え、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて書くことができる。
	6	4	SP	ア	PT	SP1□	情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話すことができる。
	7	5	SI	ア	PT	SI1□	これまでに学んだ語句や文法を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して対話のやりとりを続けようとしている。
2	9	6	W	ア	エッセイライティング	W1□	情報や考え、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて書くことができる。
		7	SI	イ	PT	SI3□	意見や主張、問題の解決策などを、詳しく話して伝え合うことができる。
	10	8	W	イ	定期考査	W2□	聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張、問題の解決策などを論理の展開を工夫して書くことができる。
		9	SI	ア	PT	SI2□	立場や状況が異なる相手に対して、考えや気持ちなどを詳しく話して伝え合うことができる。
	11	10	W	ア	単元末テスト	W3□	意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して書くことができる。
	12	11	SI	イ	PT	SI3□	意見や主張、問題の解決策などを、詳しく話して伝え合うことができる。
3	1	12	W	イ	エッセイライティング	W3□	意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して書くことができる。
		13	SI	イ	PT	SI4□	聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて詳しく話して伝え合うことができる。
	2	14	SI	ア	PT	SI2□	立場や状況が異なる相手に対して、考えや気持ちなどを詳しく話して伝え合うことができる。
	3	15	SP	イ	PT	SP2□	意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができる

論理・表現Ⅱ 科目の目標

「やり取りすること」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、問題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。
「話すこと」「発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	武岡台	高等学校	大学科:	情報科学文系
科目名:	論理・表現Ⅲ		学年	3年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 □	動詞や助動詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	1・2・3	プレゼンテーション	1学期 2学期	ア
	SI2 □	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考えて話して伝え合うことができる。	4・5・6	スピーチ	1学期 2学期	イ
	SI3 □	気候、環境、エネルギーなどの課題について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	7・8・9	ディバート	2学期 3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 □	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	7・8・9	ロールプレイ、グループワーク、スピーチ、プレゼンテーション	2学期 3学期	ア
	SP2 □	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、論理的に詳しく話すことができる。	4・5・6	スピーチ	1学期 2学期	ア
	SP3 □	私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるかについて、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	1・2・3	プレゼンテーション	1学期 2学期	イ
Writing	W1 □	形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	4・5・6	エッセーライティング、定期考査	1学期 2学期	ア
	W2 □	私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、論理的に詳しく書くことができる。	1・2・3	エッセーライティング、定期考査	1学期 2学期	イ
	W3 □	気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	7・8・9	エッセーライティング	2学期 3学期	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

R6	学校名:	武岡台	高等学校	学校番号:	5
	科目名:	論理・表現Ⅲ		大学科:	情報科学文系

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1	SI	ア	PT	SI1□	動詞や助動詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。
			SP	ア	PT	SP3□	私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるかについて、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。
			W	ア	エッセーライティング	W2□	私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、論理的に詳しく書くことができる。
	5	2	SI	ア	PT	SI1□	動詞や助動詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。
			SP	ア	PT	SP3□	私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるかについて、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。
			W	イ	エッセーライティング	W2□	私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、論理的に詳しく書くことができる。
	6	3	SI	ア	PT	SI1□	動詞や助動詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。
			SP	イ	PT	SP3□	私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるかについて、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。
			W	イ	エッセーライティング, 定期考査	W2□	私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、論理的に詳しく書くことができる。
	7	4	SI	ア	PT	SI2□	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考えて話して伝え合うことができる。
	9		SP	ア	PT	SP2□	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、論理的に詳しく話すことができる。
			W	ア	エッセーライティング	W1□	形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
10	5		SI	イ	PT	SI2□	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考えて話して伝え合うことができる。
		SP	ア	PT	SP2□	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、論理的に詳しく話すことができる。	
	6	W	ア	エッセーライティング	W1□	形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	
		SI	イ	PT	SI2□	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考えて話して伝え合うことができる。	
		SP	イ	PT	SP2□	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、論理的に詳しく話すことができる。	
2			W	ア	エッセーライティング, 定期考査	W1□	形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。

	11	7	SI	イ	PT	SI3□	気候、環境、エネルギーなどの課題について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発言を振り返り、改善点を見出している。
			SP	ア	PT	SP1□	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。
			W	ア	エッセーライティング	W3□	気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	12	8	SI	イ	PT	SP3□	気候、環境、エネルギーなどの課題について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発言を振り返り、改善点を見出している。
			SP	ア	PT	SP1□	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。
			W	イ	エッセーライティング	W3□	気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
3	1	9	SI	イ	PT	SI3□	気候、環境、エネルギーなどの課題について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発言を振り返り、改善点を見出している。
			SP	イ	PT	SP1□	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。
			W	イ	エッセーライティング	W3□	気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。

論理・表現Ⅲ 科目の目標

「や話し取り」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、課題を解決することができるよう、情報や考え、気持ちなどを整理して話して伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張、課題の解決策などを、聞き手に説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。
「話し発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。